2026　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	動作学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	5F機能訓練・治療室
担 当 教 員	大釜 崇 (OT学科専任教員)	実務経験とその関連資格	作業療法士として、精神障害領域、老年期領域にて訓練を実施。			

《授業科目における学習内容》

①基本的な姿勢の種類を理解する。立位の安定条件、重心線、筋活動、立位姿勢の異常について学習する。
②各基本動作における動作を可能にするメカニズムを学習する。
③各基本動作における動作の問題点を推論するためのポイントについて学ぶ。
④歩行周期、歩行時の筋活動や関節角度の変化、高齢者や小児、婦人の歩行、異常歩行について学習する。

《成績評価の方法と基準》

定期試験(100%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

石井慎一郎編著:動作分析　臨床活用講座　バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践　メジカルビュー社
配布資料

《授業外における学習方法》

教科書を中心とした授業の予習・復習。

《履修に当たっての留意点》

実習や臨床では動作観察の能力は特に必要になってくるので、実習や臨床での仕事を想定して学習しましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	姿勢観察ができるようになる。	教科書 配布プリント	事前学習 シラバスを読む(20分) 事後学習 配布プリントの復習(40分)
		各コマにおける授業予定	姿勢の記載と類型、姿勢観察のポイントについて学ぶ。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	姿勢に関する国家試験問題を解けるようになる。	教科書 配布プリント	事前学習 配布プリントを呼んでおく(30分) 事後学習 小テストの勉強(30分)
		各コマにおける授業予定	立位姿勢における重心、重心線、安定性、筋活動、立位姿勢の異常などについて過去問題も参考にして学ぶ。		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	寝返りのメカニズムについて理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習 寝返りについて教科書を読む(30分) 事後学習 配布プリントの復習(30分)
		各コマにおける授業予定	寝返りの概要、メカニズムについて学ぶ。		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	寝返りのメカニズムについて理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習 寝返りについて教科書を読む(30分) 事後学習 配布プリントの復習(30分)
		各コマにおける授業予定	寝返りのメカニズムについて学ぶ。		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	寝返りの動作観察ができるようになる。	教科書 配布プリント	事前学習 寝返りについて教科書を読む(30分) 事後学習 小テストの勉強(30分)
		各コマにおける授業予定	目視による動作観察のポイントについて学ぶ。		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	起き上がりのメカニズムについて理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習 起き上がりについて教科書を読む(30分) 事後学習 配布プリントの復習(30分)
		各コマにおける授業予定	起き上がりの概要、メカニズムについて学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	起き上がりのメカニズムについて理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習 起き上がりについて教科書を読む(30分) 事後学習 配布プリントの復習(30分)
		各コマにおける授業予定	起き上がりのメカニズムについて学ぶ。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	起き上がりの動作観察ができるようになる。	教科書 配布プリント	事前学習 起き上がりについて教科書を読む(30分) 事後学習 小テストの勉強(30分)
		各コマにおける授業予定	目視による動作観察のポイントについて学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	立ち座りのメカニズムについて理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習 立ち座りについて教科書を読む(30分) 事後学習 配布プリントの復習(30分)
		各コマにおける授業予定	立ち座りの概要、メカニズムについて学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	立ち座りのメカニズムについて理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習 立ち座りについて教科書を読む(30分) 事後学習 配布プリントの復習(30分)
		各コマにおける授業予定	立ち座りのメカニズムについて学ぶ。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	立ち座りの動作観察ができるようになる。	教科書 配布プリント	事前学習 立ち座りについて教科書を読む(30分) 事後学習 小テストの勉強(30分)
		各コマにおける授業予定	目視による動作観察のポイントについて学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	歩行のメカニズムについて理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習 歩行について配布プリントを読む(30分) 事後学習 配布プリントの復習(30分)
		各コマにおける授業予定	歩行の概要、メカニズムについて学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	歩行のメカニズムについて理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習 教科書の復習(30分) 事後学習 配布プリントの復習(30分)
		各コマにおける授業予定	歩行のメカニズムについて学ぶ。		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	歩行の動作観察ができるようになる。	教科書 配布プリント	事前学習 歩行について教科書を読む(30分) 事後学習 配布プリントの復習(30分)
		各コマにおける授業予定	目視による動作観察のポイントについて学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	歩行に関する国家試験問題が解けるようになる。	教科書 配布プリント	事前学習 配布プリントを読む(30分) 事後学習 配布プリントの復習(30分)
		各コマにおける授業予定	歩行に関する国家試験問題について過去問を通して学ぶ。		